

佐伯市城下町遺跡（旧天祐館跡）の調査

村上 久 和

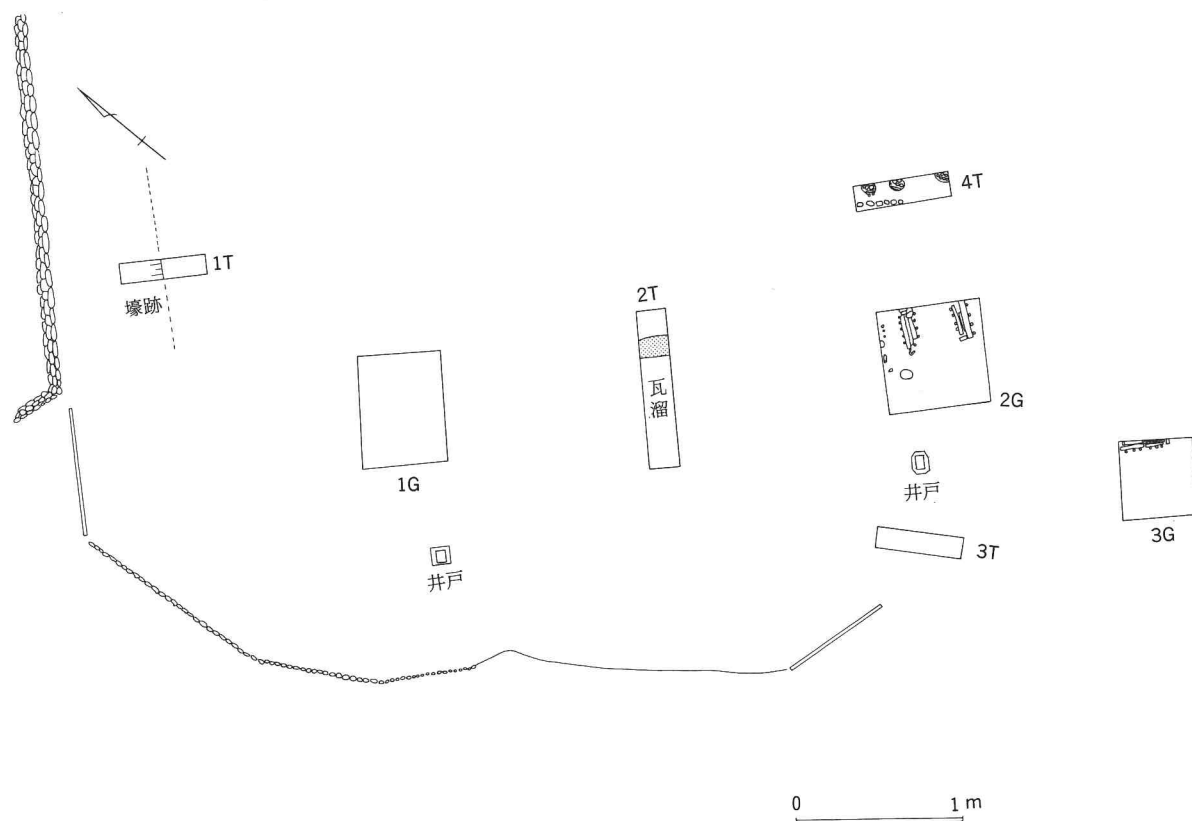
本調査地点は佐伯城三の丸跡の南側に位置し、明治四年頃発行の佐伯藩時代屋敷図に天祐館という屋敷が示されている。この天祐館は佐伯市教育委員会発行の『明治100年記念佐伯昔と今』に1862年に毛利氏の別邸として作られたとされている。

今回この地点に市立美術館建設が予定されている為、試掘調査を行った。調査はトレンチを4箇所、グリッドを3箇所設定し、行った。その結果、第1トレンチで三の丸高石垣に付属したと考えられる深さ3m以上の濠跡、第2トレンチで瓦溜遺構、第4トレンチで礎石建物跡および石列群・第2・3グリッドで一本造主木群、土壌等々の遺構を検出した。出土遺物は17世紀～18世紀の伊万里焼陶磁器碗、皿類、唐津焼陶器碗、皿類、備前焼スリ鉢等多数出土した。

今回の試掘調査では、出土遺物の時期から、絵図等に認められる天祐館以前の遺構が検出されたことになり、その立地から上級武士層の屋敷地の可能性が高く、今後、本調査および文献史資料等の検討を行わなければならない。



図版10 石列および礎検出状態



第53図 佐伯市城下町遺跡（天祐館跡）グリッド・トレンチ位置図